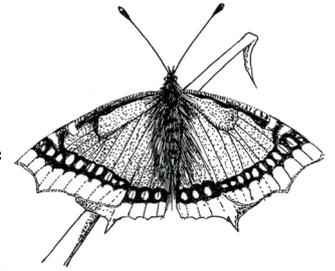




桜井あけみ 議会レポート

2014年9月22日発行 no.32

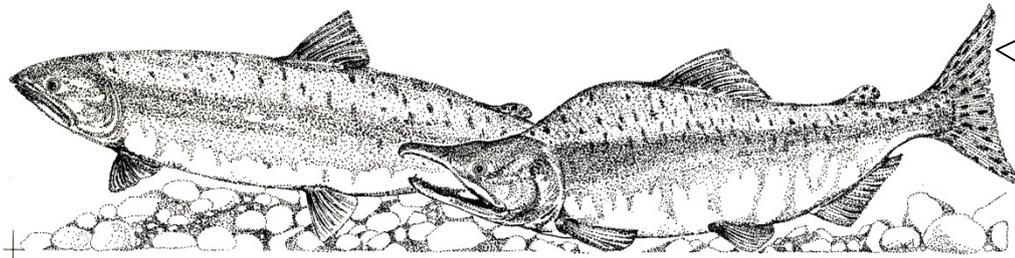


みなさん、こんにちは すっかり秋です!!!

今年はカラフトマスの漁獲量がとても少ないとのこと。最近の気候の変化でしょうか。でも、畑の作物はとても順調とのこと。秋サケ漁も始まっています。豊かな、豊漁の秋を期待しましょう。

9月議会は17日、18日の2日間で終わりました。2日間でスケジュールをこなさなくてはならないので、なかなかぎっしり。議会中継を聴いていた人からは、「めっちゃ、早口になってびっくり!おかしかった!」との感想もいただきました・・・。

さて、9月議会までの町の様子、決まったこと、話し合われたことなどを報告しますとともに、私の考えなども交えてレポートします。



カラフトマス

今年はどこに行ってしまったのでしょうか? 以前も使ったこのイラストですが、川に遡上する姿が、確かにこの秋は少ないです。どこに?

子ども子育て・支援制度・・・で、保育所は? 町は? どう変わるのだろう?

*** 現在は、2箇所の常設保育園、4箇所のへき地保育所、そして民間の幼稚園があります。**

来年4月から新しい制度になるのは、常設保育所の2箇所です。幼稚園は平成29年からこの制度対象の施設に変わり、へき地保育所は平成30年から通年化の保育所に変わる計画です。

新しい制度では、子どもを預かってもらう時間(必要量)が、それぞれ選べるものになっています。

保育標準時間(11時間)と保育短時間(8時間)があります。

これは、現在、延長保育を希望されている方にとっては、助かるものです。

町の説明では、保育料についてもこれまでと大きな変化はないと考えているそうです。

しかし、町の計画の素案を見ると、**未満児保育の受け入れは充分とは言えません。**

子どもの保育環境の充実、働く環境の確保、あるいは人材確保につながる大きな問題です。今回の町の計画(素案)を見ていても、そうした対応の必要性が十分に組み込まれているとは思えません。確かに、予算が関わる問題ですが、斜里町の出生数の推移をみても、早い対応が必要と思います。

とにかく、制度が変わる内容をしっかりと利用者が理解できるような広報をすること。

その制度の中で、斜里町にとって有効な選択をしていく事が大切です。

とは言っても、へき地保育所には現在も140名近い利用者がいます。

当分の間は、これまでと変わらない環境となりますが、

へき地保育所も利用者が増えていく状態です。

今後、こうした制度を受けられるようにすべきか、あるいは現状の環境を続けていく方が良いのか、しっかりと協議することが必要です。

分かりやすい、資料をつくって協議することですね。

小さな子どものいらっしゃるみなさん、しっかり情報収集をしましょう!!

**小さな子どもの
いるみなさん!
しっかり
情報収集を!**

9月の議会では こんなこと、こんな内容について質問しました。思いました。

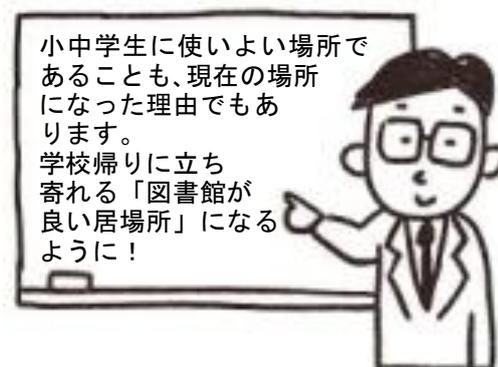
新図書館の運営方針が示されました

一般質問でも総務文教常任委員長が質問されていましたが、図書館の休館日、あるいは図書館長の配置については、課題だと私も思います。図書館協議会で専任の館長配置を提言されたのは、しっかりと責任のとれる、あるいは予算的な運営にも関われる存在、と言う意味だったと思います。一週間の勤務時間、あるいは嘱託職員としての位置づけなども町民に納得できるものになっているのでしょうか。また、近隣町村の休館日の考え方も変わってきています。新しくオープンするのですから、前進した対応を期待したいです。

そして、小中学生、あるいは高校生、そして地域の人が図書館に行きやすい、図書館を利用しやすい環境をつくることも大切なことです。児童生徒の安全のためにも、現館長の言うように「良いたまり場」になるような取り組みをはかってもらいたいと思います。

小中学生が学校帰りに図書館に寄ることができる、あるいは、バス停の設置で通学生が使いやすい環境にできる。取り組みは、教育委員会でも対応しているそうですが、多くの方が、利用できるように知恵を出して動きましょう。

オープンまで、より良い環境への模索は続けるべきです！



さて、ゴミ処理場の課題いろいろですが・・・

北海道新聞にも分かりやすく書いてありましたが、町の一般ゴミを処理して作られる、生成物の利用先が見つかりました。大手の製鉄所で利用されるそうです。新しい利用先を探すことが、一番の課題でしたから、良かったです。

その、製鉄所への運搬などにかかる費用などが補正予算であげられました。

しかし、生ゴミの堆肥化施設ではまだまだ改良しなければならないことも多く、まだ、水分量は多いとのこと。また、現在の生ゴミ袋は途中でふるいにかけて取り除き、それを一般ゴミ処理していますが、できればこの生ゴミ袋を、生分解性（原料が石油ではなく植物など）の袋にできないものか？と言う事で、今回は「その袋を使って試してみてもいいよ！」と言う人に利用してもらう「モニター」を募集してやることになりました。

ほかには、最終処分場の滞留水問題解決の一つとして、小さな貯水池にシートを貼る対策などを実施することになりました。

大きな課題だった生成物の利用先確保ができたので、新しいバイオボイラーで堆肥化施設に熱を送る計画は、ほかの方法で加温することに。まだまだ、対応は続きますが、解決に向けては動き出しています。

ちなみに、生分解性生ゴミ袋は北海道内でも多くの自治体で使われています。小清水町や津別町など生ゴミの分別収集を行っている自治体では、すでに多く使われています。

ぜひ、試してみたい「生分解性生ゴミ袋」ぜひ、みなさんもモニターとして使ってみてください。

石油製品ではない、分解される袋は環境にも良いはずですよ。

* 生分解性の水切り袋ってのもありまして、我が家でも利用していますが、いいですよー





6月議会での一般質問

1・介護保険制度もまた、また変わっていきます



斜里町の介護保険計画も来年、新しくなります。介護保険料も変わります。前は、ずいぶん保険料が高くなりました。

今度の計画では、やはり高くなりますが10%前後で抑えたいとのこと。

いくつもの介護保険のサービス事業所もあり、ほかにも様々なサービスがありますが、なにが受けられて、町には何がないのか、できないのか、できるのか？良くわからないと言う声が多いですが、これからは介護・社会福祉全体を包括的に管理運営する役割が、今まで以上に必要になります。その、システム作りにも早く取り組まなくてはなりません。

介護福祉は、利用者にとっても、サービス提供者にとっても、分かりやすく、全体をしっかり把握することが、とても大事になってきます。急がなきゃ！！

2・まちづくりの視点で、町の施設を有効に、付加価値を付けながら・・・

公共施設は、とにかく維持、管理、現状維持をハード面から見がちですが、そうではなく、様々な視点から、その活用や運営について考えなくてはならないと思います。

行政は、その建物などをどうしても担当部署、あるいは事業目的で見てしまいがちです。大切な町の財産です。修理や壊すこと、維持管理だけではなく、今以上に使い方を柔軟に考えて、民間、あるいは町外の人々の利用など、広く考えるべきではないでしょうか？

たとえば、峰浜の宿泊温泉施設。町民のみなさんが利用しますが、あんなに景色の良い場所です。大がかりではなくても、お風呂に入りながら景色を楽しめたら・・・

付加価値を生み出す取り組み。考えてほしいですね。同時に、そうしたまちづくりの考えを町長はもっと、私たち住民に語りかけてほしいと思います。

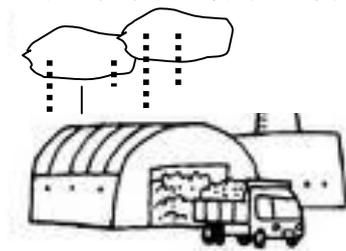
嬉しい施設に

ちょっと
した視点



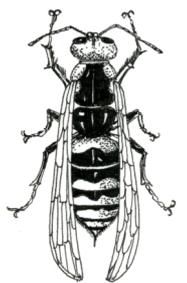
3・最終処分場に屋根をつけて、雨水や降雪の対応をやったほうがいいのか？

最近の局所的豪雨、あるいは春先の豪雪など、これまでとは変わってしまった気象状況の中で、最終処分場の滞留水はなかなか減ることがありません。



抜本的な対策として、雨水対策のための屋根を考慮してはどうでしょうか、と言う質問です。多額の費用がかかること、などで、なんとか他の方法でと、対応しているとの答弁でした。完全なクローズ型ではない、雨水対策の屋根は検討してもよい対策ではないかと思えます。

根本的な対応を考えた方がいいのでは？



！
議会での質問は、何を聞いても、何を言っても良いというものではありません。議案の内容に関係すること以外は認められていません。でも、一般質問は、議案に関係なく質問することができる場です。

ほかにも議会の補正予算の場で確認したかったことがあったのですが・・・

中継をご覧になった方からも・・・時間が足りないんじゃないか？詰めすぎでは？と、言われたように、本会議主義の斜里町議会とは言え、次の議会までに担当の部署に確認することにしました。

- * 介護事業従事者の人手不足の現状と対応
- * 高齢者の安否確認に関する「コープさっぽろ」との連携
- * 子宮頸がんワクチン接種の課題と町の取り組み
- * 学校給食アレルギー対応のその後

など、みなさんの関心の高い問題については調べて、ブログなどでお知らせします。

他にも気になることなどありましたら、お知らせくださいね。

本会議だけが、議会の場ではないと思いますが、時には本会議で質問しなければならないこともありますね。

なかなか見えにくい部分の議会活動 その2

委員会がたくさんあります。現在は常任委員会含めて6委員会。任期4年中や全員参加もありますが、中には順番に毎年構成される委員会もあります。議会議員の活動に新人とか何期もやられているからという理由で、役割を回されるということはないと思っています。もちろん、勉強のためにあえて参加する場合があります。が、やはりなんとなく納得のできない割り当てを、最近は何に感じます。勇気を出して「おかしいです」と言っても「・・・まあまあー」で終わることも。この辺は、議員個人の意識改革にゆだねる部分しか今のところないようですね。



それで！
いいんかい？

議会中継についてのお問い合わせがいくつかありました。

* 委員会の中継は？

ありません。今は本会議だけの中継と録画です。全員協議会も、どうしても見られないのか？とよく聞かれますが、その理由は私にも明確に答えられないのです。議事録は全員協議会の部分は平成21年度から法改正により公開されています。

* 録画が見られない

これは、確認しましたら、以前の録画とのことです。私も、この以前の録画をどうして見るできないのか、明確に回答ができません。どうしてでしょうね。他の議会では見られる所が多いです。無料サービスの配信だから？と思いましたが、そうではないようです。議会議事録ができた時点で配信ストップになっています。

議会中継については、詳細などは議会運営委員会の中で協議されています。

議会の場で活動したい！

と、思う方が増えてほしいと思います。そんな思いも込めて、議会のいろいろを・・・前回、野次のことを、斜里町ではそんなことはないと言書きました。その後、政務調査費（これもずいぶん問題になっていますが）についての問い合わせも多くありました。斜里町議会では報酬の他・委員長、議長等の加算報酬分以外でこうした費用の支給はありません。以前、同僚議員に、この議会レポートの費用が町から支給されているのだろうか？と言われましたが、かかる費は、私個人からの支出です。間違えないでね。



****さて、私ごと いろいろ****

- * 前月号で、8月初めに二人目の孫が生まれると書きましたが・・・3週間ほど早く7月14日に産まれてしまいました。小さいけれども元気な女の子でした。暑い中での、産後の世話でしたが、なんとか無事に終わりました。
- * 議会に関わる前から、地域のいくつかのイベントを企画してきました。この秋も楽しい企画を実施します！人が集まって、自分たちの力で何かできることは、とても楽しく力をもらいます。

議会活動を通して、最近思う事があります。行政の役割ってなんなのでしょう？住民と行政のお互いの役割を、斜里町は「自治基本条例」の中でしっかりと明記しています。問題は、それを日常の中でしっかりと実践できるかということです。そのへんを、私自身、しっかりととらえて、来期も、なんとかがんばってやって行きたいと思います。どうぞ、みなさんの応援とご協力をよろしくお願いします。

* ここでお知らせできることの他にたくさんいろいろなことがあります。また、こうしたお便りを読みたい方がいらっしゃいましたら、送りますから、お気軽にどうぞ！声かけを。



文中の誤字脱字については、お許してください。発見できないことあるのだからかじめ、ごめんなさい。



ツイッターやフェイスブックをやっています。興味のある方は、是非、参加してみてください。いろんな考え方があって楽しいですよ。*メールを送って戴くときにはお名前、連絡先を書いてください。お願いします。

- ホームページみてください。 <http://akemichan.net/>
 - ブログ 「ふつう」の生活から <http://akemiburogu.sblo.jp/>
- 「桜井あけみ後援会」099-4351 斜里町ウトロ香川104

桜井あけみ 議会レポート
コメントを待っています。
メールは koe@akemichan.net へ